

アンモニア活用火力発電所整備事業  
環境影響評価実施計画書

令和6年7月

マ ツ ダ 株 式 会 社  
三菱商事クリーンエナジー株式会社



## 環境影響評価実施計画書

事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事業所の所在地		<p>名称：マツダ株式会社                  代表者：代表取締役社長兼 CEO 毛籠 勝弘                  所在地：広島県安芸郡府中町新地 3 番 1 号</p> <p>名称：三菱商事クリーンエナジー株式会社                  代表者：代表取締役社長 藤井 隆男                  所在地：東京都千代田区丸の内二丁目 6 番 1 号</p>
対象事業の目的		「第 2 章 2.1 対象事業の目的」参照
対象事業の名称		アンモニア活火力発電所整備事業
対象事業の内容	対象事業の種類	電気工作物（火力発電所）の設置
	対象事業の規模	約 11 万 kW
	対象事業の実施を予定している区域	広島市南区仁保沖町 1 番 1 号 (マツダ株式会社本社工場宇品地区敷地内)
	その他既に決定されている対象事業の内容に関する事項	「第 2 章 2.5 事業の概要～ 2.7 工事計画の概要」参照
対象事業の実施を予定している区域及びその周囲の概況		「第 3 章 事業の実施を予定している区域及びその周辺の概況」参照
広島市環境影響評価条例第 5 条の規定に基づき行った環境の保全についての配慮の内容		「第 4 章 環境配慮事項」参照
対象事業に係る環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法		「第 5 章 環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法」参照
対象事業の実施に際して必要な許認可等の種類及び根拠となる法令の規定並びに当該許認可を行う者の名称		「第 6 章 事業に係る許認可、届出等」参照
対象事業の実施に際して必要な特定届出の種類及び根拠となる法令の規定並びに当該特定届出の受理を行う者の名称		「第 6 章 事業に係る許認可、届出等」参照
その他		—



# 目 次

第1章 対象事業の名称及び事業者の名称等 .....	1-1
1.1 対象事業の名称 .....	1-1
1.2 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地 .....	1-1
第2章 対象事業の目的及び内容 .....	2-1
2.1 対象事業の目的 .....	2-1
2.2 対象事業の種類 .....	2-2
2.3 対象事業の実施を予定している区域 .....	2-2
2.4 事業の規模 .....	2-2
2.5 事業の概要 .....	2-5
2.5.1 施設の概要 .....	2-5
2.5.2 発電工程の概要 .....	2-7
2.6 操業計画の概要 .....	2-9
2.6.1 設備の配置計画 .....	2-9
2.6.2 発電用燃料の概要 .....	2-11
2.6.3 燃料等の運搬 .....	2-11
2.6.4 ばい煙の排出諸元 .....	2-13
2.6.5 主な騒音・振動の発生源 .....	2-13
2.6.6 用水・排水 .....	2-14
2.6.7 漏洩対策 .....	2-15
2.6.8 操業時に発生する廃棄物等 .....	2-16
2.6.9 温室効果ガス .....	2-16
2.7 工事計画の概要 .....	2-17
2.7.1 工事工程 .....	2-17
2.7.2 使用する主な建設機械 .....	2-17
2.7.3 工事中の排水 .....	2-17
2.7.4 工事用資材等の運搬 .....	2-17
第3章 事業の実施を予定している区域及びその周辺の概況 .....	3-1
3.1 自然的状況 .....	3-3
3.1.1 大気環境の状況 .....	3-3
3.1.2 水環境の状況 .....	3-20
3.1.3 土壌及び地盤の状況 .....	3-35

3.1.4	地形及び地質の状況	3-36
3.1.5	動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況	3-43
3.1.6	景観及び人と自然との触れ合いの活動の場の状況	3-48
3.1.7	一般環境中の放射性物質の状況	3-54
3.1.8	文化財の状況	3-55
3.2	社会的状況	3-57
3.2.1	人口及び産業の状況	3-57
3.2.2	土地利用の状況	3-62
3.2.3	水域利用の状況	3-66
3.2.4	交通の状況	3-69
3.2.5	環境保全の配慮が必要な施設の配置及び住宅の配置状況	3-72
3.2.6	上水道及び下水道の状況	3-80
3.2.7	環境負荷の状況	3-81
3.2.8	環境保全を目的とする法令等による指定及び規制等の状況	3-85
3.2.9	関連する行政計画の状況	3-135
第4章	環境配慮事項	4-1
4.1	地域の環境特性	4-1
4.2	事業別の環境配慮事項	4-3
4.3	本事業の環境配慮事項	4-4
第5章	環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法	5-1
5.1	環境影響評価の項目の選定	5-1
5.1.1	影響要因の抽出	5-1
5.1.2	環境影響評価の項目の選定	5-1
5.2	調査、予測及び評価の手法の選定	5-10
5.2.1	大気質	5-10
5.2.2	騒音	5-17
5.2.3	振動	5-20
5.2.4	水質	5-23
5.2.5	景観	5-25
5.2.6	廃棄物等	5-29
5.2.7	温室効果ガス等	5-30
第6章	事業に係る許認可、届出等	6-1